

花畑地区の皆さまへ アンケート調査ご協力のお願い

NPO法人エコロジー夢企画では、足立区からの委託により、「足立区の環境デジタルマップ」づくりをおこなっています。このため、桑袋周辺を含め、足立区内の川や池の水質、どの場所にどのような生き物がいるのか、植物・昆虫・野鳥の種類や発見した場所などを調べていますが、この調査の一環として、桑袋周辺地域の皆さまにアンケート調査をお願いすることになりました。

調査内容は、統計処理をおこなったうえ、その結果を足立区の地図に載せて、ホームページなどから区民の皆さまにご覧いただけるように計画しております。

趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、記入後は添付の返信用封筒で、ご返送いただきますよう、お願いいたします。

アンケート返送の締切：平成15年12月末日

平成15年11月

お問い合わせ先：NPO法人 エコロジー夢企画

担当者：理事長 三井元子

住所：〒120-0036

足立区千住仲町1-5 商連会館4階

電話/FAX：03-3881-9311

名 前					
実物を見た ことがある					
実物を 見た場所					
いつ頃 見たのか					

質問3 足立区の自然環境について、感じていることをおしえてください。

(1) 緑地

) 印象： 豊か まあまあ どちらともいえない 少なめ 不足

(2) 空気

) 印象： きれい まあまあ どちらとも やや汚れている 汚れている

(3) 公園の水辺

) 印象： たくさん まあまあ どちらともいえない 少なめ 不足

) 満足： 満足 まあまあ どちらともいえない やや不満 不満

) 「満足」「やや不満」「不満」な場合の理由：

(4) 河川の水辺

) 印象： たくさん まあまあ どちらともいえない 少なめ 不足

) 満足： 満足 まあまあ どちらともいえない やや不満 不満

) 「満足」「やや不満」「不満」な場合の理由：

質問4 「木登り」をしたことがありますか？

(1) したことが : ある ない

(2) 「ある」場合) いつ頃： _____) どこで： _____

質問5 別紙の絵を見てください。花畑の桑袋小学校跡地に、平成17年、綾瀬川の浄化施設とビオトープ(さまざまな生物がすみつけるような空間をもった)公園、河川情報発信センターがオープンすることをご存知ですか？

知っている 知らない

次のページで最後です

質問6 別紙の写真を見てください。綾瀬川をはさんだ対岸の八潮市に、大曽根のビオトープ(さまざまな生物がすみつけるような空間)と呼ばれている、自然の池があることを

ごぞんじですか。

知っている

知らない

質問7 最後に、あなたご自身についてお尋ねします。

(1) 性別：男 女

(2) 年齢：
～9歳 10～14歳 15～19歳
20～24歳 25～29歳 30～34歳 35～39歳
40～44歳 45～49歳 50～54歳 55～59歳
60～64歳 65～69歳 70～74歳 75～79歳
80～84歳 85～89歳 90歳～

(3) 職業：
会社員等 自営業 会社役員 農林水産業 主婦
アルバイト等 大学生 高校生 中学生 小学生
無職 その他()

(4) 足立区での居住年数：
～5年 6～10年 11～20年
21～30年 31～50年 51年～

(5) 足立区への転入前の居住場所：
) 都道府県) 市区町村

追加の調査にご協力いただける場合は、連絡先をご記入ください。

(6) お名前：_____

(7) ご住所：_____

(8) 電話番号：_____ - _____

(9) FAX：_____ - _____

ご協力ありがとうございました。

この用紙を返信用の封筒に入れ、お近くのポストに投函して下さい。

『質問2』の写真です。

名前を知っていますか？見たことがありますか？

(1) 植物



(2) 昆虫



(3) 野鳥



質問5の絵

園内の保安と防犯のため、フェンス(高さ2m)を設置し、夜間照明管理を行う

公園外周には防犯灯として、水銀灯を設置する

植物による風景(野原)をつくることを基本とする
段階的植栽を行い、目標とする構成に近づけていく

基盤となる植物(スターチングプラント)で野原を構成する

動物は、その移動性に留意し、目標とする種を導入する



田小学校正門開閉は、歴史を重し、人の交流する場となるポットバークとして臨時開放する

水田は、南面の側、田圃の風景をつくるハス田として整備する

ため池は、自然観察のための子供、親を誘い、浄化水を伝布川へ放出する

ため池を囲む形で多様な構成の樹林を配し、内部を安定した水辺空間にする

既存林は、基本的に残して外周部樹林と一緒に活用する

駐輪場は乗車場入口奥側にスペースを確保する(50台分)

公園利用者の駐車場を設ける(障害者用2台、普通乗用車9台、バス2台)

情報発信施設は多くの人が集い活動できる、散生林と草畑による広場とする

浄化施設上部は低木・草本類を中心とした構成とする